

〔科目名〕 経済演習Ⅱ				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 演習科目	
〔担当者〕 黄 年宏 コウ トシヒロ						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 経済学による経済課題の分析							
〔演習内容〕 本演習では、個人研究、討論会、課題授業を通じて学びを深めます。具体的には、以下のように行います。 ① 個人研究: 学生が関心を持つ経済課題をテーマとして取り上げ、経済学の知識を生かし、趣味や専門知識を結びつけながら課題を分析する能力を身につけることを目指します。 (例: メッシ効果によって、アメリカのサッカー人気はどこまで高まるだろうか) ② 討論会: 社会情勢やニュースを討論会のテーマとし、現象の背後にある経済メカニズムを解明し、多様な視点から検討することで、論理的かつ客観的に理解する力を養います。 (例: 米中貿易摩擦におけるチキンゲーム) ③ 課題授業: 犯罪経済学、教育経済学、労働経済学などの分野から理論モデルを取り上げ、現実社会との関連性を理論的に議論し、実証分析の基礎的な能力を育成します。 (例: Gary S. Becker の犯罪決定モデルを用いた死刑の犯罪抑止力の分析)							
〔科目の到達目標〕 個人研究を基に、先行文献の内容を整理し、経済学の基礎理論を活用して研究手法を考案できるようになる。社会現象を分析・考察し、論理的にまとめる力を養う。 理論モデルを取り上げ、データ分析や理論的な議論を展開、結果を的確に伝える表現力を身につける。							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
	○	○			○	○	
〔前提条件〕 特になし。							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 研究に対する取り組み姿勢と演習で指導教員が総合的に評価。(100%)							
〔教科書等〕 適切なものを演習で指示する。							
〔実務経歴〕 該当なし。							
授業スケジュール							
時期	テーマと内容						
第1回 ～ 第2回	テーマ(何を学ぶか): オリエンテーション 内 容: 本演習の趣旨・進め方の説明、履修者の自己紹介と興味分野の共有						
第3回 ～ 第4回	テーマ(何を学ぶか): 文献選定&計画立案 内 容: 自分が取り組みたい経済課題に関する書籍・論文を見つけ、読み進め方・討論計画を策定						

第5回 ～ 第6回	テーマ(何を学ぶか):読書・文献共有(1) 内 容:選んだ文献の要点や面白い箇所、疑問点などをグループ内で共有
第7回 ～ 第8回	テーマ(何を学ぶか):読書・文献共有(2) 内 容:新たに得た論点・追加で調べたい論文やデータを洗い出し、研究テーマの輪郭を深める
第9回 ～ 第10回	テーマ(何を学ぶか):課題授業(犯罪経済学 1) 内 容:Gary S. Becker の犯罪決定モデルを紹介します
第11回 ～ 第12回	テーマ(何を学ぶか):討論会(1) 内 容:社会情勢やニュースに討論
第13回 ～ 第14回	テーマ(何を学ぶか):読書・文献共有(3) 内 容:参考文献を追加調査し、先行研究のアプローチや分析方法についてグループでディスカッション
第15回 ～ 第16回	テーマ(何を学ぶか):討論会(2) 内 容:社会情勢やニュースに討論
第17回 ～ 第18回	テーマ(何を学ぶか):読書・文献共有(4) 内 容:文献で用いられている分析手法を確認
第19回 ～ 第20回	テーマ(何を学ぶか):討論会(3) 内 容:社会情勢やニュースに討論
第21回 ～ 第22回	テーマ(何を学ぶか):総まとめ(1) 内 容:これまで読んだ文献の内容を改めて整理し、課題を再定義
第23回 ～ 第24回	テーマ(何を学ぶか):課題授業(犯罪経済学 2) 内 容:社会的損失最小化モデル(政府による最適な取締り・刑罰の選択)
第25回 ～ 第26回	テーマ(何を学ぶか):課題授業(労働経済学 1) 内 容:労働需要モデル、補助賃金モデル
第27回 ～ 第28回	テーマ(何を学ぶか):課題授業(教育経済学 1) 内 容:教育年数の決定モデル(離散ケース・連続ケース)
第29回 ～ 第30回	テーマ(何を学ぶか):振り返り 内 容:文献読解・討論の成果を共有し、分析・レポート作成に向けた準備事項や課題を確認